

(5) 新川水系流域治水プロジェクト(素案)について

令和3年3月15日

○昭和56年8月洪水で甚大な被害が発生した新川水系では、都市部の流域治水プロジェクトとして以下の取り組みを一層推進していくことで、昭和56年8月洪水と同規模の洪水に対応した治水対策を行い、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・樋門・樋管改築等
- ・雨水貯留浸透施設の整備(調整池の整備等)
- ・土砂災害対策(砂防関係施設の整備)
- ・治山対策
- ・森林整備(間伐・植栽)等
- ・農業水利施設の整備
- ・水田の貯留機能向上

■ 被害対象を減少させるための対策

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・避難勧告着目型タイムラインの運用



凡例

- 樋門(管)工、排水機場
- 浸水範囲(昭和56年8月洪水実績)
- 市街地(DID地区)
- 北海道知事管理区間
- 流域界
- 市町村界



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。